

# 広域連携等の府内先進事例 ①

## ◆ 福知山市水道事業等における包括的民間委託

平成31年4月から、施設の運転管理や窓口業務など計54業務を一括で委託

- ・ 委託期間：令和元年度～5年度
- ・ 委託費：5年間で25億円（年間で約0.5億円の効果）
- ・ 委託業務：54業務（うち新たに委託化する業務は9業務）

庁舎管理、窓口・料金関係業務（検針・徴収等）、施設の監視・運転・維持・修繕、漏水調査等

水道事業の根幹となる重要な事務は直営を維持

（経営戦略、水道ビジョン・更新計画、料金改定、滞納管理、減免決定、補助金事務、事業認可・届出、水質検査、施設・管路更新、水道技術管理者の事務を含む）

### 包括的民間委託により期待できるメリット

- ① 市民サービスの向上  
電話受付等の一元化（ワンストップサービス）
- ② 民間企業の専門性の高いノウハウの導入  
民間の創意工夫による効率性の高い業務を導入
- ③ 経費の削減  
包括的発注による経費の削減、業務の効率化による削減

### 職員体制

#### 委託前

4課 83名

〔 総務課  
お客様サービス課  
水道課、下水道課

正職員 62

嘱託 13, 臨職 8



#### 委託後

3課 59名

〔 経営総務課  
水道課  
下水道課

正職員 51

嘱託 4, 臨職 4

## 広域連携等の府内先進事例 ②

### ◆ 亀岡市から南丹市への水道用水供給

- ・ 南丹市の大藪浄水場が老朽化のため、更新が必要（約15億円）
- ・ 南丹市から亀岡市に、隣接する千代川浄水場からの給水の可能性を打診
- ・ 亀岡市で検討の結果、給水可能と判断され、協議を開始
- ・ 平成31年1月に基本合意書を交わし、6月に両市議会へ協定書案を提案、議決
- ・ 令和元年6月に基本協定締結式を実施
- ・ 用水供給のための管路敷設費用は、南丹市が負担（約4～5億円）

➡ 令和3年度内の供給開始を目指す

